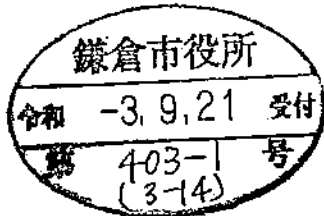


景観配慮協議申出書

2021年 9月 16日

(宛先) 鎌倉市長



届出者 住所 東京都港区西新橋二丁目8番6号
 氏名 大和地所レジデンス (株)
 代表取締役 下村 俊彦
 電話 03 (3509) 1380
 住所 東京都港区芝二丁目32番1号
 代理人 氏名 ㈱長谷工コーポレーション
 一級建築士 島田 健司
 電話 03 (5484) 2006

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	産業複合地、住商複合地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住 所	東京都港区芝二丁目32番1号	
	氏 名	㈱長谷工コーポレーション 代表取締役 島田 健司	電話 03 (5484) 2006
行為の場所	地名地番	鎌倉市常盤字下耕地18番4	
	用途地域	近隣商業地域、工業地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行為の種類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input checked="" type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定	R4年 1月 14日	完了予定 R5年 2月 28日

(裏)

建築物の概要	用途	共同住宅			
	最高の高さ	19.99m	階数	地上 7 階 地下 0 階	
	構造	鉄筋コンクリート造			
	敷地面積	3737.39m ²			
	建築面積	1821.39m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 1821.39m ²
	延べ面積	8316.80m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 8316.80m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m	
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
	仕上材	屋根	シート防水	色彩	屋根
外壁		50二丁掛タイル、吹付タイル	外壁		2.5Y7.5/1.5 (チャコール) 10YR4/1 (ベージュ)
開発行為の概要	開発区域の面積	4049.40m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 (区画の統合、提供公園 (242.97m ²))			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	戸建て住宅、共同住宅や産業施設が混在。
まち並みの連続性	低層、中高層の建物、モノレール等が混在した街並み。
周辺建物のデザイン	シンプルな形状で落ち着いた色彩の建物が点在。
眺 望 景 観	南側は、低層の住宅地。東側と北側には湘南モノレールが上空を通っています。
景 観 資 源	西側には柏尾川、北側には新川があり、周辺には山並みがあります。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	建物は、隣地、道路境界から極力離隔を確保し、周辺への圧迫感の低減に配慮しています。
形 態 意 匠	○	規模の大きな建物となるため、外形はシンプルな構成にします。
色 彩	○	周辺の建物に合わせ、アイボリーを基調とした、周囲に調和した色彩とします。
建 築 設 備	○	電気室、ポンプ室は地上に計画し、境界際から離れた位置に配棟しております。機械式駐車場は、ルーバーを設置し、修景に配慮。
外 構 緑 化	◎	モミジ、サクラといった、四季を感じられる植栽を施します。東側の道路からも視認できる計画とします。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成	○	地盤レベルは沿道部との連続性に配慮し計画します。
擁 壁	○	極力地表面に出さないよう計画します。
敷き際・緑化	◎	カシをベースとしアクセントとしてモミジ、サクラ、サルスベリ等を植栽。中木や低木もバランスよく植栽します。